# 特集: キャプストは問う、 人間はナニモノなんだ!? と。

●早速ですが、読者から「最近永友くんの下ネタ発 言が多くなった原因の9割くらいはJUNGLE★ LIFEにあると思う」というハガキが来ておりまし て(※1)。

#### 一同:アハハハ(笑)。

#### ●でも、永友くんは前から「もっと色気のあるエロ い曲とか作りたい」と言ってましたよね? 僕はそ の部分を引き出してるだけのつもりだったんですけ ど…。

永友:ああ~、言ってましたね。もちろん僕も(下 ネタ的発言を)無理して言ってる訳じゃないですよ。 JUNGLE★LIFEだと言い易いだけで(笑)。

#### ●JUNGLE★LIFEには言い易い…要するに相手 を見てる、と。

永友:そうそう(笑)…ていうか、インタビューではいつも先に下ネタを振られますからね(※2)。

●そんなことより音楽の話ですけど、1/23にシン グル「わがままチャック」をリリースしましたが、 その前には"新春対決LIVE「全開チャック○○ツ アー」"で色んな/いととマンVSツアーをしたり、 3月にはGOING UNDER GROUNDの東北ツア ーに参加するなど相変わらす精力的に活動されてい ますよね。そんな中、永友くんがプログでGOING UNDER GROUNDとの東北ツアーは「新しいキ ャプテンストライダムのライブの「ツボ」の様なも ののヒントが垣間見えたツアーだった」という発言 をされていたのが印象的だったんです。

# 永友:はいはい。

●ここ最近のキャブストはボッブな面よりも、バン ド感であるとか生々しい人間臭さが前面に出ている と感じるんですけど、そういった変化と共通する話 なのかなと。 永友:GOING UNDER GROUNDとの東北ツアーの前に、みんなで結構ニーティングしてたんです。 「東北ツアーの前に、もう1回ライブを見直そう」と と(※3)。やっぱり彼らは芯が通ってるというか、 演っていることが明確だと思うんです。

#### ●はい、そうですね。

永友:だから僕らも明確なモノを持ちたいなと。やっぱり対バンツアーは勝負ですから負けたくないですし、勝ちたいから。そのツアーは秋田が最初だったんですけど、その日はとにかく集中して、それまでのリハーサルで積み重ねてきたことを出し切ろうと演ってたんです。

#### ●はい。

永友:曲が進んでいくにつれて いいライブになる な。っていう感触があったんですけど、ライブの最 後「マウンテン・ア・ゴーゴー」の時にギターの音 がまったく出なくなったんですよ。

#### ●いちばんの見せ場じゃないですか。

永友:そうなんですよ。要するに予定に無かったことがそこで起こったんですけど、気がついたら僕は ハンドマイクで歌ってたんです。

# ●無我夢中だったというか。

永友:その時、僕はギターを復旧させることよりも ハンドマイクで歌い続けることをとっさに選んだん ですけど、その瞬間から梅田のブレイも変わったし、 ドラムの守代司のブレイも変わって。

# ●あ、なるほど。そのトラブルによって。

永友:そうそう。サポートギターのヨコチン(※4)
 も僕が弾かないから計算したんでしょうね。バカなんですけど(笑)。
 ●アハハハ(笑)。

永友:"足りない部分を埋めるにはどうしたらいい

か"っていう。そこでバンドがガッとひとつになっ たんです。何のトラブルもなく予定通りライブが終 わったときよりも"ライブを演った"という実感が すごくあって。

Ba./Cho. 梅田啓:

Dr./Cho. 菊住守代言

Vo./G. 永友聖t

#### ●なるほど。

キャプテン

ストライ

永友:それは"こういうライブを演りたい"という 目標があって、その目標に対して計算していくって いうことを超えたところの実感だったんです。ライ ブはもちろん1本1本違うんですけど、その時に自 分たちが思ったことや感じたことを音にするという ことに、団結して向かえたというか。それが東北ツ アーで掴みかけたことなんです。

#### ●それがブログで書いてた"ライブの『ツボ』"と いうことですね。

永友:そうです。あのツアーはそれが僕の中では大きくて。トラブルがあることが良いわけじゃないんですけど、ライブを演っていく中での団結する瞬間というか、絆みたいなモノを大事にしていかなきゃいけないということに気づけたんです。そういう部分を意識的に考え始めてる感じですね(※5)。

●なるほど。そしてちょっと繋がりが意外だったん ですけど、3/26にリリースされたBEAT CRU-SADERS企画のAC/DCカヴァートリビュートア ルバム「THUNDER TRACKS」にも参加し、 「SHOOT TO THRILL」をカヴァーされました よね (※6) 。そもそもAC/DCは永友くんか世界 一好きなバンドということですが。

永友:そうです。AC/DCはロックンロールバンド っていうか、ひとつのことをすっとやっていくバン ドでは世界ーだと思います。
●昔から好きなんですか?

●目から対きなんで9か? 永友:好きですね(※7)。10代後半に出会って

なにがなんだかわからないモノを「わからない」と言えないの

世界一のドラマー/プロデューサー・Steve JordanとNYで重ねた逢瀬から約半年。2008年1月にロック汁溢 れるシングル『わがままチャック』をリリースし、バンドが持つ根源的な芯を直視しながらひたすらロックを掻 きむしってきたキテレツ系骨太ロックバンド・我らがキャプテンストライダム。彼らはこの4月、Steve Jordanプロデュース第2弾となるシングル『人間ナニモノ!?』をリリース。音楽をやる意味を、いや、生きて いる意味をも投げかけ、そして自分自身に問いかけて爆発させる同曲は、生命力がほとばしるキラーアンセム。 人間ナニモノ!? と問われる前にまず訊きたい。キャプテンストライダム、お前らはいったいナニモノなんだ!?

以来、すっと好きです。この企画はタロウくんから 直接電話が来てオファーをくれて(※8)、"なん でも好きな曲選んでいいから参加してよ"と言われ たので"じゃあ「THUNDERS TRUCK」がいい" って言ったら"もうオレたちが湧ってる"って(笑)。 ● (笑)。そのトリビュート収録曲で、4/23にリ リースしたシングル「人間ナニモノ!?」のカップ リング曲でもある「SHOOT TO THRILL」です が、実際にカヴァーしてみてどうでした? 糸友:カヴァーではあるんですけど、ちょっと新境

#### 地が拓けた感じがありましたね。 ●新培地というと?

本気:特にヴォーカルに関してなんですけど、やっ ばりAC/DCは好きだから"ここはオリジナルに忠 実に"っていう部分があるんですよ。やっぱりリフ 命だから"リフは変えたくない"と。そうするとヴ ィーカルが問題になってきて。AC/DCはすごい/ イトーンなんですけど、ギターが変えられないから キーを変えることが出来なくて。元のキーで歌うか オクターブを下げて歌うか…でもオクターブを下げ て歌うとAC/DCの感じが出ないから、無理矢理に でも原曲の殺人的なキーで歌うしかないんですよね。

#### ●なるほど。そういうことですね。

永友:玉砕覚悟で歌ってみて(笑)、普段出す声とはちょっと違うんですけど、自分でも新鮮な感じで録れて。だからカヴァーではあるんですけど、今までの自分には無い部分を発見出来たというか。 "AC/DCのカヴァー"というお題がある中で…そういった制約がある中で、どうやって作ろうかな?" と考えた結果、新しい発見がありましたね(※9)。 ●そのカヴァーも収録されたシングル「人間ナニモノ」?! ですが、今作に至るまでの経緯としては、 昨年の秋に世界ーのドラマー/ブロテューサー・ Steve JordanとNYでレコーディングを行いましたが、そのSteve Jordanプロデュースが1弾 としてリリースされたのがシングル「わがままチャック」(2008年1月リリース)で、今作は第2弾 ということですよね。

# 永友:そうですね。 ●キャプストは『わがままチャック』以降、サウン

ドはもちろんのこと、アーティスト写真(※10) なども含めてどんどんぶっ壊れてきている気がする んです。というか、もともと持ってたぶっ壊れた部 分をかっこつけて隠すわけでもなく、惜しげもなく 出すようになったと。

永友:うんうん。

●決してスタイリッシュではない…というか、ぶっ ちゃけダサイんですけど(笑)、ダサイことを本気 で突き詰めることのかっこよさというか。「人間ナ ニモノ!?」を初めて聴いたとき、「わがままチャ ック」と同じくポップというよりライブ映えしそう な曲だったのでちょっとびっくりしたんです。もち ろんポップを否定するわけじゃないですけど、僕は そもそもキャプストのライブで感じるぶっ違れた部 分が好きだったので、個人的には嬉しかった。

永友:昨年の夏前にNYでSteve(※11)と作る ということが決まって、それまでに作ってた曲を NYにまとめて送ったんです。でもその後、「洋楽 っぽいかっこいいロックもいいんだけど、Steveと やるからには日本のロックを見せつけてやれるよう な1曲が欲しいね」と考えて新たに書いて。まさに 勝負ですよね。Steveに「どうだ! これが日本の ロックだ!」と見せつけてやろうという気持ちがあ って。だからこの曲に関しては"Steveにプロデュ ースしてもらう"と言うより"Steveはこの曲にど う応えるんだ?"っていう気持ちで、「洋楽だとか 邦楽だとかうるせえ!」っていう、究極の曲を作ろ うと(※12)。

#### ●キャブストは、そういった"究極の曲を作ろう" とか"スタジアムロックを作ろう(※13)"とい うようなゴール地点をまず決めて、そこから具体的 に落とし込むアブローチが多いですけど、同曲に関 してはどうやって落とし込んだんですか?

永友:さっき「ぶっ壊れてきている」とおっしゃい ましたけど、とにかく今思ってたり、その日、その 瞬間に思っていることをそのまま出そうと。何かに 例えるとかするんじゃなくて、そのまま書こうと思 って書いたんですよね。要するに怒ってたんですよ。 ●怒ってたんですか。

永友:ええ。イライラしてて。具体的に何か特別な ことがあったというんじゃないんですけど、「何な んだ?」って思うんですよね。その疑問というか不 満は「人間ナニモノ!?」というタイトルに集約する んですけど、世界のどこかで戦争とか起こってるじ ゃないですか。

#### ●はい。

永友:戦争が起こっている一方で「戦争反対!」と 言ってる人たちも居て。どっちも同じ人間がやるこ とだし、立場が違えば言い分が全然違ったりするこ ととか。

#### ●確かにそうですね。

永友:例えばテロで突っ込んでいく人とか居ますけ ど、要するに立場が違って自分がイスラム圏で育っ てそういう教育を受けたら、「アメリカは敵だから 倒して新しい世界を作るんだ!」という信念に燃え て突っ込んで行ったかも知れないじゃないですか。 ●はい。永友くんは特にそうなりそうです。

●はい。水及くんは特にてうなりてうです。

永友:それなのに "その行為を批判する理由って何なんだろう?" っていう。所詮僕はそれを家で寝転がってテレビを通して知る程度のことしか無くて、果たして良いことなのか…その矛盾した感じをどうしても自分の言葉として言っておきたかったんです。 ●なるほど。

永友: "これが正義だ" という答えを出すことより も、"どっちも在る" ということが人間の有り様な んだという。なんか、それを歌いたいと思ったんで す。

#### ●ということは、「人間ナニモノ!?」は曲や歌詞 の断片から始まったというよりは、とにかく歌いた かったということが出発点になるんですね。 永友:そうですね。衝動的な感じで。

●この曲のライナーノーツ(※14)で永友くんが"人間とは大いなる矛盾をはらんだ生き物だ"と書かれ ていますが、まさに現実社会には"矛盾"が溢れて ますよね。先ほどの国際社会の話だけじゃなくて、 日本の政治に関してもそうだし、もっと小さい範囲 で、日々の生活でもそうだし。 永友:はいはい。

●そういった世の中に溢れている"矛盾"に対して、

僕はどちらかというと諦めた見方をしていたんです。 「どうせそんなもんなんだ」と。でも永友くんはそうじゃない。同じくセルフライナーノーツの中で"世の中色々あるけど、音楽を聴いている間は幸せで、 俺は「聴き手と同化する」という音楽の力をもっと 信じたい"というようなことを書いていて。

永友:僕はやっぱり音楽を聴くと前向きになれるんですよ。どんなにネガティブなことを歌っている曲でも、自分の心のどこかに引っ掛かってくると、それによってネガティブになったりとか "死にたい"と思ったりするようなことは絶対に無くて。 "がんばろう"と思うんですよね。前向きになれるっていうか。

#### ●はい。

永友:そういう力だと思うんですよ。音楽で特定の 思想や考え方を読入かけたりする必要は一切なくて、 聴いた人の中で何か湧き上がるモノがあればいいと 思うんですよ。例えば事件が起こったりしたときに 「犯人はマリリン・マンソンを聴いてたから悪影響 を受けた」とか話題になりますけど、事件を起こし た原因はそいつの中にもともとあるのであって、マ リリン・マンソンの所為でも何でも無いし。

●ふむふむ。

永友: 僕なんかは音楽からボジティブなパワーを受け取ったりすると、自分の中の力が引き出されるというか。サラリーマンだった頃とかは「今日もがんばって会社行こう」みたいなことだったりするんですけど、それが音楽の力だと思うんですよね。その人の中で何か変化が起こるっていう。しかもそれは絶対に前向きなパワーだと思うんです。

#### ●なるほど。

永友:だからこの曲を聴いて「なに偉そうなこと言ってんだ!」とか「ふざけんな永友!」とかでもいいんですよ。その人の中を素通りして流れいくようなモノではなくて。「ふざけんな!」っていう感情もパワーじゃないですか。聴き手にぶつかっていくというか、とにかくささくれ立って、引っ掻き傷を残していきたかったんですよね。

#### ●そういうことですね。そう考えると、今までと曲 の作り方が違ったりするんですか?

永友:例えば「マウンテン・ア・ゴーゴー」を作っ た頃(※15) もそういうアブローチだったんです けど、あの頃は"わかる人だけわかればいいや"み たいな、シュールな世界(※16) で音楽を作って たんですよね。そこに引っ掛かってくれた人もたく さん居て、それはそれで嬉しかったんです。でも「人 闘ナニモノ!?」は聴いたら速攻でわかる曲にしたか った。歌詞を書いたとさは全然計算してないんです けど、例えば人間を歌おうと思ったときに、それを 何かに例えるんじゃなくて"人間"は"人間"のま まで歌いたい。その方が刺さるんじゃないかなって 思ったんです。

#### ●ああ、なるほど。

永友:そうした方が直接届くんじゃないかな、そこで何かが起こるんじゃないかなって。だから歌詞はすごくストレートに書きました。
●歌詞は今までの書き方とは明らかに違うかも知れ

#### ●歌詞は今までの書き方とは明らかに違っかも知れ ないですね。

永友:かなり違いますね。 "選ぶ" っていうことが あまり無かった。

はナゼだ? その答えはキャプストが握っている…かも知れない。13

# 「毎日残業して週末はバンドをやってて、"しんどいなぁ"みたいな 怒りがあったんだけど、でもあの曲を作って歌うことでがんばれた|

#### ●はいはい。

永友: "ここの表現を何か上手い言い方にしよう" とかすら無かったです。それに、何となく音楽が消 費されていくことに対して苛立ちもあったし。 ●「ダウンロードじゃなくてワシらのCD買え!」

### と?

永友:それもあるし(笑)、歌の寿命が1週間2週 間の世界じゃないですか。

#### ●「ウィークリーチャートって何だ!」と?

永友:チャートを見るのは好きなんですけどね(笑)。 なんか1週間2週間の数字でしかなくて、それで次 の曲が出てきたらどこにも跡形も無くなっちゃって ることがよくあって。音楽ってそういうモノじゃな いと思うんですよ。心の中には一生残っていくモノ だから、そこで諦めたくないっていう想いもありま したね。それにすぐジャンル分けされちゃったりと か…。僕なんかもよく新曲を聴いて「ああ、こんな 感じね」って思ってしまったりするんですけど。

#### ●「あ、WEEZERっぽいね」みたいな。

永友:そうそう(笑)。そういうモノを飛び越えた いっていう気持ちもあって。

●以前のインタビューで"共感"という現象に関し て「アーティストとして、100人中100人全員に 伝わるような表現を選ぶのか、100人中1人でも いいからすごく突き刺さる表現を選ぶのか?」とい う質問をしたとき、永友くんは「バランスを取ろう としていた」と言ってて。でも「人間ナニモノ!?」 に関しては、"共感"という現象とは全然別の次元 で追い求めたような感じでしょうか。

#### 永友:そうですね。"共感してもらおう"とかあま り考えてなかったです。とにかく聴いた人の中に土 足で入り込みたいっていう。殴り込みですよ。

#### ●今まではどちらかと言うと「永友くんはいい人だ」 けど、付き合うのはちょっと…! みたいなところが あったのかも知れないですね。

永友:そうですよ。今まではご両親に「夜分遅くに 恐れ入ります…| っていうところから始まってたん ですけど、そうではなくてご両親に「娘さんとセッ クスさせてください!」っていう(※17)。

#### ●アハハ(笑)。「人間ナニモノ!?」が持つ、そ ういった衝動的な強さは、歌詞はもちろんそうです けど、サウンドからもビシビシ伝わってくるんです よ。例えばこの曲はツインドラムで、Steve Jordanと菊住くんが叩いてるんですよね?

菊住:そうです。ツインドラムにしたきっかけは、 この曲のアレンジがある程度完成して、NYに行っ て録ろうかっていう段階で出てきたアイデアで。「人 間ナニモノ!?」はとにかくエネルギーをすごく持っ てると感じたんです。永友さんが歌詞を書いてきて、 自分もアレンジを完成させたときに、とにかく曲に もっとエネルギーを注ぎたくて。

#### ●なるほど。

菊住:そこで「一緒にドラムを叩いたらどうだ?」 という話をしたら、Steveも「やろうやろう!」と。 永友:そこでもやっぱり対決なんですよね。曲を作 るときも"Steveはこの曲にどう応えるんだ?"と いう勢いで作ったと言いましたけど、ドラムも右と 左でガチの対決をしようと。

●確かにヘッドホンで聴けばわかりますね(※18)。 永友:実際のところ、ものすごい緊張感でしたよ。 一発録りだったから、まさに一発勝負だったし。 ●当の菊住くんはどうでした?

菊住:それこそ闘う感じでいきましたね。セッショ ンみたいな感じで、Steveが入って音作って3回く らいしか合わせなかったんですよ。3回目で「もう これはすごいのが録れた | って。もちろん3人でべ ーシックな部分は作り上げたんですけど、やっぱり 1人加わると全然変わるんですよね。

#### ●なるほど。

菊住:それにSteveはあまりキメを覚えない人だっ たということもあって(笑)、こっちが引っぱって いこうという感じで録ったんです。

#### ●キメを覚えない人なんですか?

菊住:キメとかあまり入れないんですよ。だから Steveはシンプルなリズムを叩いてて、僕は割と細 かいパターンを叩いて。 ●はい。

菊住:それに、レコーディングでは音響的な問題が あるから楽器を離して配置するんですけど、Steve のドラムの隣に僕のドラムを置いて。 ●事前にあまり確認したりせずに、アドリブ的に進

## めたんですね。

菊住:もちろん最初にデモを送った段階で「このフ ィルは面白いからそのままでいこうぜしみたいなこ とはありましたけど、大半はその場のノリで。 ●そうだったんですね。

菊住:もちろんすごいドラマーなんですけど、全員 がひとつの目標に対して向かって行く感じがすごく あって。Steveが出してるノリと僕が出しているノ リはちょっと違うと思うんですけど、それが混じっ て結果的に「人間ナニモノ!?」のグルーヴになった というか。レコーディングのときはなんていうか… なんだろう…ブッ飛んでいるっていうか。

#### ●オルガスムスを迎えていたと。

菊住:そうですね。オルガスムス状態でしたね。 ●一方、梅田くんはどうだったんですか? ツイン ドラムということもあって、ベースも今までとは違 う感じだったと思うんですが…。

梅田:いや、俺的には別に何も考えずに演奏したん ですけど(※19)。

#### ●あ、そう…なんだ(笑)。 一同:(笑)。

梅田:最初にデモを作った段階で設計図的には充分 あって、要するにそれが実現出来ればいいと思って て。Pro Toolsで作ってて、サウンド面である程度 見えてきたんですけど未だ歌詞が出来てなくて。で も、その時に永友が「俺、明日までに書いてくる」 と言って書いてきて(※20)。

# ●はいはい。

梅田:それで歌詞を見たときに、すごく力のある言 葉が入ってると感じて。今までの歌詞みたいに、何 かの世界観や物語とかじゃなくて、自分が真ん中に 立って大事なことを叫んでいるという印象があって。

# ●確かにそういう歌詞ですからね。

梅田:そこに俺らの演奏をどう絡ませるかっていう 部分で、どんな雰囲気を作っていくかとか、どんな 世界観を描くかとかはもう要らないって思ったんで す。強い言葉があるから、演出とか小技とかでどう こうするんじゃなくて、思ったままというか、感じ たまま…ウズウズしたりムカムカしたモノをドーン と演奏に出せばいいんじゃないかと思ったんです。 ●なるほど。

梅田:それをSteveと合わせたとき、アメリカ人と 日本人という違いはあれど、Steveはファンクとか

ソウルとかのグルーヴをもともと持ってる人だし. 俺らはなんだろ? …祭り囃子なのか何なのかわか らないけど…そういった根源的なモノがあって、そ ういった深い部分っていうのは説明なんか無くても 伝わるみたいなんですよね。だから俺らの中に Steveが入って叩いても、バンドとしてすごく力が 増すけど、俺の演奏としてはSteveが入ったからど うこうっていう感じでは無かったんです。ただ楽し かったですね。楽しくて夢中になって、気持ちよく なりすぎて止まるところをちゃんと止まれてないけ ど(笑)、それでもOKっていうか。

#### ●そういうことですね。

梅田:最初に「最近のキャプストは生々しくて人間 臭い」って言ってくれましたけど、すごく人間臭い というか獣臭い(※21)というか。生々しいバン ドサウンドになりましたね。

#### ●なるほど。Steveも含めて、メンバー全員が裸 と裸でぶつかり合うようなプロセスを経て完成した んですね。

永友:そうですね。

#### ●ところで「人間ナニモノ!?」のスタート地点と なった、永友くんの「人間は何なんだ?」という怒 りというか疑問は、曲を完成させたことによって解 決したわけではないんですよね?

永友:そうですね。結局は"?"のままっていうか、 この曲では怒りと疑問を吐き出しただけですよね。 でもこの曲をこないだライブで演奏したんですけど (※22)、歌う度に曲を作ったときと同じ気持ち になれるんですよ。もう1回怒っちゃう(笑)。そ ういう歌ですね(※23)。

#### ●あ、なるほど。

永友:「にんげん!」っていう連呼も、 例えば"人間は駄目な存在なんだから、がんばって いこうよ。正しく生きていこうよ"というメッセー ジを発信するというよりも、なんか一緒に「にんげ ん! にんげん!! ってやってくれることで、その 人の中の"人間"をもう1回呼び覚まして欲しいっ ていうか。「人間ってこういうモノだよね」ってい う諦めがあったとしたら「いや、違うだろ? もっ と怒っていこうよ!!っていう。

#### ●はいはい。

永友:「もっと煮えたぎっていこう」っていう、そ ういう部分を呼び覚ます歌になって欲しいんです。 だから答えを出したいというわけではなく、眠って いた何かを呼び覚ましたい。

#### ●確かに「にんげん! にんげん!」という連呼を 聴いてたら、そもそも"にんげん"という言葉がど ういう意味を持っているかすらもわからなくなって しまいますからね(笑)。

永友:そうそう(笑)。

#### ●この曲が現時点で出来たということは、キャプス トにとっては大きかったと思いますが、ブログを見 る限りでは最近(取材は4/2)も永友宅で曲作り をしているみたいですね。

永友:作ってますよ。まさに「人間ナニモノ!?」が 出来たことは大きかったというか、バンドとしての ハードルが上がったということだと思うんですけど、 梅田も守代司も曲に対して色んな意見を出すように なったし。"いい曲っぽいコード進行で、いい曲っ ぼいメロディでやることには何の意味も無いんだ" っていうことに気づいたというか。

#### ●バンドとしての価値観に変化があったと。

なにがなんだかわからないモノを「わからない」と言えないの

永友:うん。それよりも、もっと活き活きとしてい る曲というか、今の自分たちがグッと来てる感覚を すごく大事にするようになりました。だからその分、 これから苦しいことも今まで以上に多いと思うんで すけど、でも変わってきてますね。生々しくなって ると思います。

### ●今後はどうなっていくんでしょうか?

永友:今はアルバムを作ってて、その中には"人間 はナニモノなんだ!?"という問いを投げかけている、 すごく大事な歌(「人間ナニモノ!?」)がもちろん 入って。結局は、 "僕らはなぜ音楽をやっているん だ"というところなんですよね。

# ●はい。

永友: "人間はナニモノなんだ!?" と投げかけるの は、別に音楽じゃなくて、街中でアジテーションし てもいいわけだし、文章を書いてもいいし、映画と かの表現でもいいわけだし。でも音楽は聴いた人の モノになるし、聴いた人は真似できる…歌えるんで すよ。それは、映画とか漫画とかには無い要素だと 思うんです。"口ずさんで歌う"っていうことはす ごいパワーだと思うんですよ、その人の身体を動か しているわけですから。

#### ●そうですね。

永友:で、アルバムを作ったりバンドをやっていく 中で、"人間はナニモノなんだ!?"という問いに対 する答えを探していってるんでしょうね。そこで答 えが見つかるかどうかはわからないですけど、前に

## そろそろGWですねそうですねキャプスト註釈

#### ※1:木当に来ました。

※2: 原因は100%/UNGLE★LIFEにあった。インタビュアーがゲスト出演したキャプス トのインターネットラジオ「チューチューラジオ」第6回(4/12更新分)を観た人は、 JUNGLE★LIFEが下ネタの元凶だということにお気づきのハズ。ちなみに、学生の頃か らメンバーの中でいちばん下ネタ発言が多かったのは永友。本人曰く「田舎から出てきて、 まず打ち解けるために下ネタで盛り上がる。人間同士の裸の付き合いみたいなもんで、そ ういう話から仲間になっていく…そういうことってありますよね」とのこと。 ※3:ロックの飽くなき探求、キャプストは転がり続けているのである。

ャプストファンを魅了する。

違うか。

※6:JUNGLE★LIFE125号参照。AC/DCとアンガス・ヤングをリスペクトするBEAT CRUSADERSのGカトウタロウ監修のカヴァートリビュートアルバム。永友はカトウタ ロウと同い年。CSの番組がキッカケで出会った2人はAC/DCのマニアックな話題で盛り 上がって急接近し、レコーディング中のスタジオにも遊びに行くほどの仲となった。カト ウタロウ日く「取材で永友くんと対談する機会があって、01年の来日公演で買った AC/DCのグッズを持ってきたのでオレにくれるのかと思ったら、単に自慢したかっただ けらしい。しっかり持って帰った」とのこと。

※7:2006年10月にリリースされたシングル曲「恋するフレミング」に関するインタビ ューでの「この曲はAC/DCサウンドを目指して作ったが、2年くらい先取りしている感 じがした。2年経ったら日本のバンドシーンはこうなってるんじゃないか」という永友の 発言は、前述したAC/DCカヴァートリビュートアルバムの出現に奇しくも符合する。取 材後、この事実に気付いたときは鳥肌がちょっと立った。ノストラ・聖也・ダムスである。 ※8:永友は2006年夏、プロデューサーと密に連絡を取るために携帯電話を持ち始めたが、 もしあの時に携帯を持たなかったらこのトリピュートにも参加していなかったのだ。

※9:ドMバンド界のマエストロ・キャプテンストライダムは、こういう縛り(制約)に よって新たな自分を発見するのだ。

※10:アーティスト写真:レコード会社がアーティストのプロモーションやHPなどで使 ちなみにジャケット写真は"ジャケ写(じゃけしゃ) ※11:世界一のドラマーとファーストネームで呼び合える永友。

らしい。マウスでカット&ペーストしながらシコシコ3人で作った曲を、世界一に叩きつ けたのである。

※14:シングル『人間ナニモノ!?』のフライヤーの裏面に全文が掲載されている、熱く 素晴らしい名文。

※15:代表曲「マウンテン・ア・ゴーゴー」は、2001年にはライブで演奏するように なり、音源としては2002年に制作した手焼きCD『ノーテンフラワー』に初めて収録さ れた。同CDには「ブッコロリー」と「舟」も収録。その後、「マウンテン・ア・ゴーゴ

### 進んでいくための希望みたいな力が音楽にはあると 思うんです。

キャプテンストライダム

ない"っていう希望があって。でも「人間ナニモノ!?|

なんかは、こっちの世界にみんなを引きずり込むっ

ていうより、みんなと同じ土俵で勝負してるつもり

で言葉を書いてて。そういう風に変わってきてると は思うんですけど、音楽を作ったり歌ったりするこ

とで"未来は明るいぞ"っていう気持ちになるって

ヤア!ヤア!ヤア!

レコード

AICL-1914

¥1,223(税込)

NOW ON SALE

いう基本的な部分では変わってないですね。

**RELEASE INFORMATION** 

人間ナニモノ!?

※ライブ情報は HP をチェック!

http://www.captain-a-gogo.com/

New Single

一」は松本隆主宰の風待レコードからデビューシングルとして発売される。

※17: あくまでも親に言うところが永友スタイル (NAGATOMO STYLE)。

間ナニモノ!?」という曲に関する発言なのでやっぱり間違っていると思う。

ムランか三振という博打性が高い助っ人外国人。

※19:永友曰く「梅田はそういう役回り」。

めでとう」という永友のひと言も収録されている。

たら引くと思う」とのこと。

当たらなかった。上達した。

あり。

はナゼだ? その答えはキャプストが握っている………のか?

※16: "ランラン ランスがホームラン" という歌詞は当時、シュールパンド界に衝撃を

与えた、ランスとは87年に広島東洋カーブに所属したリチャード・ランスのこと。ホー

※18:右はSteve、左は菊住。ヘッドホンを使って世界1位と世界2位のドラマー頂点対

※20:普段、永友は自宅キッチンの流しの前にイスを置いて歌詞を書くことが多いらし

いが、「人間ナニモノIP」のときは作詞に没入するあまり、流しに片足を突っ込んで変な

姿勢で書いていたという。他にも寝転がったり、Tシャツを乳首が見えるほどまくり上げ

てコタツにもたれて書いたりしている。永友曰く「鶴の恩返しの鶴が"絶対に見ないで下

さい"と言った気持ちがわかります。見られたらイヤだとかいうレベルではなく、見られ

※21:獣臭い:今のキャプストサウンドを表現する言葉としては適切だと思うが、「人

※22:4/1にSHIBUYA-AXで開催されたBEAT CRUSADERS presents "AC/DCトリ

ビュート・ライヴ殺人事件"にて演奏された。「にんげん!」にんげん!」というキテレ

ツなコールでフロアを埋め尽くすオーディエンスに衝撃を与え、トラウマを植え付けた。

※23:今回はかなり真面目な話になったので、残念ながら以降は註釈を付けるスキが見

※ちなみに1:シングル『人間ナニモノ!?』にはユニコーンのカヴァー「ペケペケ」のラ イブテイク (2008/1/23@渋谷CLUB QUATTRO) も収録されている。同曲は2004年

10月に広島CLUB QUATTROで開催された "奥田民生後夜祭"に出演するためにカヴァ

一したのがきっかけだが、その日に初めてライブで演奏するのはあまりにも怖かったよう

で、その直前に下北沢CILIB OUFで開催した音速ラインとの合同企画イベント \*☆ビー

ルナイト☆おばけナイター"にて、「すみません。民生さんと競演する大事なライブがあ

るので、今日ちょっと練習させて下さい」という前置きのもと、初めてライブで披露され

た。永友は「今考えると酷いですよね。その場に集まったお客さんをバカにしてますよね」

と深く反省している。そして、2008/1/23のライブはマネージャーのハレンチ(女)が

寿退社(できちゃった婚)を発表したタイミングだったので、収録音源には「ハレンチお

※**ちなみに2:**なんと最近は梅田も曲を作っているらしい。永友曰く「ロマンチックな曲

です。"これが梅田の本質だ"という部分がよく出てて、メロディがキラッキラしてます。

メロディは歌詞以上に嘘をつけないですからね」とのこと。この情報は、シングル『人間

ナニモノ!?』に関する取材ではJUNGLE★LIFE独占ネタということを3人と約束した。も

※ちなみに3:最近ハマっているモノは、永友は深作欣二の映画とゴミ助(生ゴミ処理機)

梅田はスーパーのポイントカード、菊住はカラーテレビ…3人ともロックパンドとして難

interview&text : Takeshi Yamanaka

15

し他の雑誌などでこの話をしていたら、3人は約束を破ったことになる。

決が楽しめる。勝負の行方は…今回は両者一歩も譲らず引き分けといったところか。

#### ●そのモチベーションというか音楽をやっている理 由というのは、バンドを結成した当初と比べると変 わってるんですか?

永友:基本的には変わってないと思うんです。やり 方というか手法は変わってるけど、サラリーマンを やりながら「マウンテン・ア・ゴーゴー」と作って た時から。あの時は自分のために(音楽を)やって たんですよ。

#### ●自分のためにというと?

永友: サラリーマンで毎日残業して週末はバンドを やって。「しんどいなぁ」みたいな怒りというか不 満があったんだけど、でもあの曲を作って歌うこと でがんばれた。

#### ●でもあの曲を作ってるサラリーマンって…ちょっ と想像がつかない(笑)。

永友:さっきも言いましたけど、あの曲は"わかる 人だけわかればいいや"と思ってて、その世界に人 を引きずり込んでたんですけど、「今は人を引きず り込むのではなくもっとたくさんの人と向き合い、 共感したい」と強く思うようになって、自分の中で はっきりと変わってきました。

### ●ああ、そういう変化ですね。だからあくまで起点 は変わってないというか。

永友:そうそう。あの曲を作ったことによって、僕 は "音楽をやっていくことで何か変われるかも知れ

※4:ヨコチン: サポートギターの横山くん。年齢は若いがキテレツなギタープレイでキ

※5:ビンチをチャンスにするバンド…キャプストはまるで芝生のようである。ちょっと

用する写真のこと。基本的にリリースの度に撮影される。"アー写(あーしゃ)"と略す。

※12:ちなみにこの曲も元を辿れば、昨年永友宅の曲作り合宿にてPro Toolsで作った

※13:前述した「恋するフレミング」のテーマ。